

災害時における障害のある人等への支援に関する調査結果について

1 調査目的

平成23年3月に発生した東日本大震災において、多くの障害のある人等が被災し、様々な課題が浮きぼりになったことから、関係団体等への調査を通じて、これらの課題を整理したうえで、災害時における障害のある人等への支援体制のあり方を検討することを目的とする。

2 調査期間

平成23年9月1日から11月30日まで

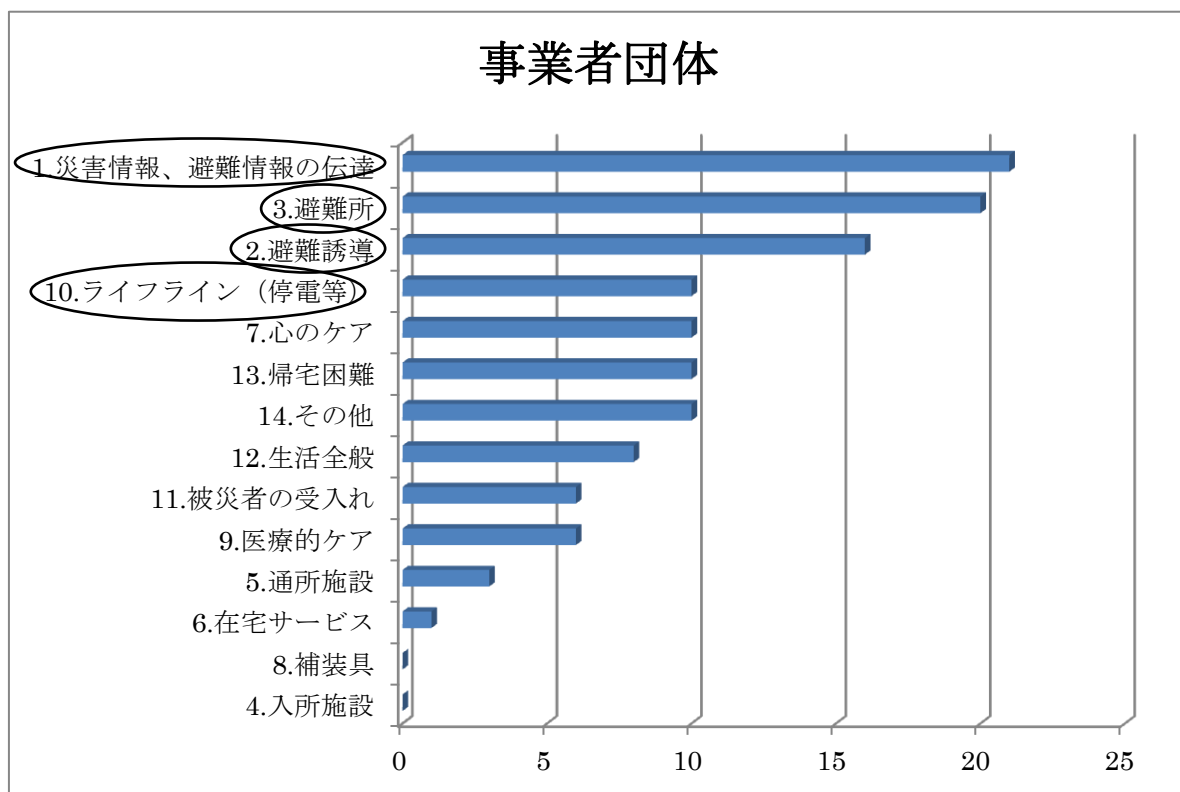
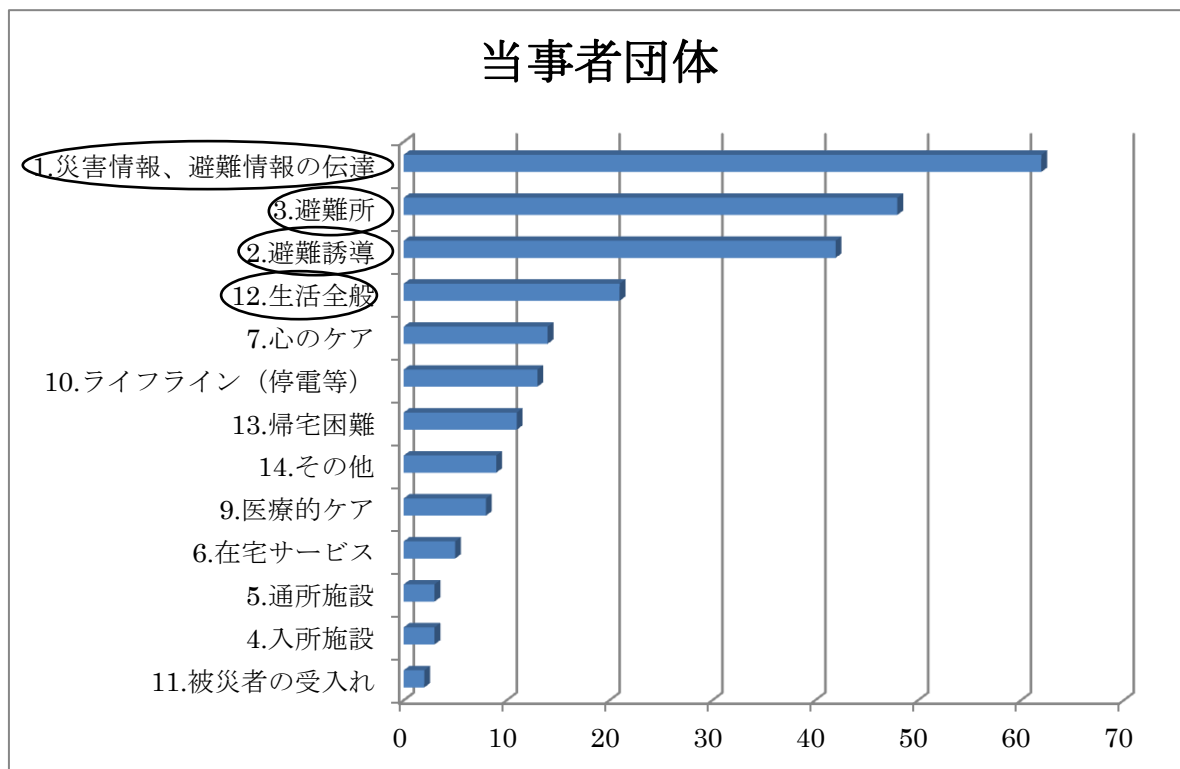
3 調査方法

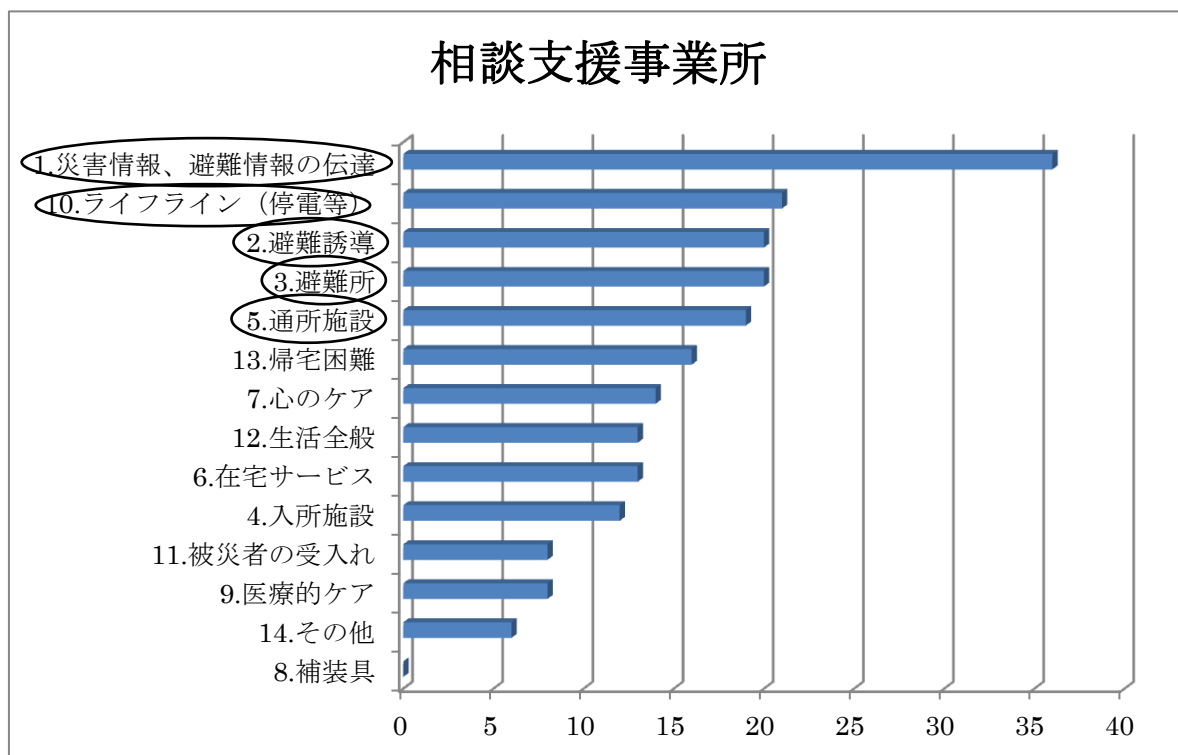
障害当事者団体32団体、事業者等団体35団体及び相談支援事業所97事業所に対し、郵送によるアンケート方式で調査を行った（調査票は参考のとおり）。

4 調査結果

約7割の団体及び事業所から回答があり、569件の意見が得られた。

課題	当事者団体	事業者等団体	相談支援事業所
1. 災害情報、避難情報の伝達	62	21	36
2. 避難誘導	42	16	20
3. 避難所	48	20	20
4. 入所施設における支援	3	—	12
5. 通所施設における支援	3	3	19
6. 在宅サービスにおける支援	5	1	13
7. 心のケア	14	10	14
8. 補装具	1	—	—
9. 医療的ケア	8	6	8
10. ライフライン（停電等）	13	10	21
11. 被災者の受入れ	2	6	8
12. 生活全般	21	8	13
13. 帰宅困難	11	10	16
14. その他	9	10	6
計	242	121	206





○ 課題に対する主な意見

ア 災害情報、避難情報の伝達

- 要援護者の住所、氏名が個人情報保護条例により市町村から開示してもらえなかったため、障害者の情報を開示してほしい（共通）
- 障害者の情報を市町村が一元的に把握し、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、自治会等で構成する支援組織を立ち上げ、障害者台帳を作成し、情報を常に共有してほしい（共通）
- 民生委員からの声かけもなく、十分な情報を得ることができなかったため、情報提供及び安否確認をしてほしい（共通）

イ 避難誘導

- 自力で避難できない人を避難困難者として登録し、地域や公的機関の援助を受け付け添ってもらい避難できるようにしてほしい（共通）
- 袖ヶ浦市では災害時の援助者2名（本人の了解があれば誰でも可）の登録があり、震災当日様子を見に来てくれて心強かった（当事者・視覚）
- 施設等では避難訓練は行われているようだが、災害時マニュアルがない、あっても不十分ということが多い（共通）

ウ 避難所

- 避難所ではトイレ近くの場所を確保してほしい（当事者・視覚）
- 避難所におけるコミュニケーション、情報入手、移動の支援に特別の配慮をお願いしたい（当事者・視覚、聴覚、盲ろう）
- 出来るだけ早期に福祉避難所の場所の設定を検討してほしい、障害別避難所の検討もお願いしたい（共通）
- 避難所の階段等に手すりやスロープ、トイレは指先や膝・腰の不自由な方や内部障害の方のため洋式のウォシュレットの設置をお願いしたい（当事者・肢体、内部）
- 腹部の洗浄、洗腸（腸内に温湯注入）が必要なため、浴場設備のある福祉避難所の設置をお願いしたい（内部）
- 災害時用に折りたたみ式のオストメイト用のトイレ、テントの備蓄をお願いしたい、習志野市、浦安市は備蓄している（当事者・内部）

エ 入所施設・通所施設・在宅サービスにおける支援

- 通所の場合でも、一時的に施設で預かってほしい、連絡がつき次第迎えに行くが交通手段等親もパニックになり、子どもはそれ以上にパニックになるので考慮してほしい（当事者・知的）
- 施設が被災して使用できなくなった場合の利用者の支援を確保する方策をお願いしたい（共通）
- 医療機関や福祉施設等に対する物資・燃料等の優先配付（特に車両用、ボイラー用、自家発電用燃料）（共通）
- すべての施設・事業所の耐震構造検査とそれに基づく対策をお願いしたい（当事者）

オ 心のケア

- 心のケアは長期にわたって対応してほしい（共通）
- 災害時は何とかなるが、その後の精神面の問題には障害のことを分かる方にケアをお願いしたい（当事者）

カ 補装具

- 各オストメイトが自分の避難所に自分の1週間分の装具備品類を保管してもらおうよう要望している。習志野市、松戸市、浦安市が対応している（当事者・内部）

キ 医療的ケア

- 医療的ケアを必要とする人にとっては生命維持のための電源確保をお願いしたい（共通）

ク ライフライン（停電等）

- 在宅生活者のためライフライン（水、電気、食料）の確保をお願いしたい（共通）
- マンションの高層階居住だが、計画停電でエレベーターが停止し、通院や買い物など外出ができなくなった（当事者・肢体）

ケ 被災者の受入れ

- 他県から被災者を受け入れた場合、住所変更しないと補装具が給付されないとされるなどの混乱が生じたので、各地の行政間での連絡対応が望まれる（共通）

コ 生活全般

- 視覚障害者だけでは給水場所に行くことは困難（当事者・視覚）
- ガソリン不足で外出を最小限にした、車は足なので不安（当事者・肢体）
- 男性障害者と女性の介助者のペアでは開放された公衆浴場等が利用できない（共通）
- 薬をもらうための医療機関までの交通手段や必要な薬を確保してほしい（当事者・精神）

サ 帰宅困難

- 帰宅困難になったが、どうしたらよいかわからず、トイレにも困った（当事者）
- 帰宅途中で交通機関が乱れると本人で判断が難しいためどのように対処してよいか考えておくことが必要と感じた（当事者・知的）

(参考)

調査票

(別紙) 災害時における障害のある人等への支援に関する課題等について

団体名 _____

担当者 _____

- 既存の資料等がある場合は、その資料等をお送りいただければ、改めて調査票に記入する必要はありません。

課題項目

1. 災害情報、避難情報の伝達
2. 避難誘導
3. 避難所
4. 入所施設
5. 通所施設
6. 在宅サービス
7. 心のケア（被災者・支援者）
8. 補装具
9. 医療的ケア
10. ライフライン（停電等）
11. 被災者の受入れ（被災者側・受入れ側）
12. 生活全般
13. 帰宅困難
14. その他

該当する項目番号（複数可です）

主な御意見など